

# 印旛普及だより

第 30 号

〒285-0026 佐倉市錦木仲田町8-1 TEL : 043-483-1128 FAX : 043-485-9502  
ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-inba/inba/mokuji/index.html>  
発行：印旛農業事務所 改良普及課・印旛地域農林業振興普及協議会

## 水田農業の維持発展のために… 担い手研究組織の設立と 農地集積に向けた取組(栄町)

米価が低迷する中、水田の受け手である担い手の経営コスト削減とそれによる集落の水田営農の永続は、地域農業の維持のため重要な課題です。

このような課題の解決策のひとつとして「農地集積」が挙げられ、「農地中間管理事業」等の活用を目指した取組みもすでにはじまっています。以下その事例を紹介いたします。

### ●きっかけは勉強会から

平成26年2月、栄町において、「水稲規模拡大及び農地集積勉強会」が開催され、6名の担い手により「水稲低コスト化を、意見交換と先進事例視察で探る研究組織」が、設立されました。

### ●研究組織の活動

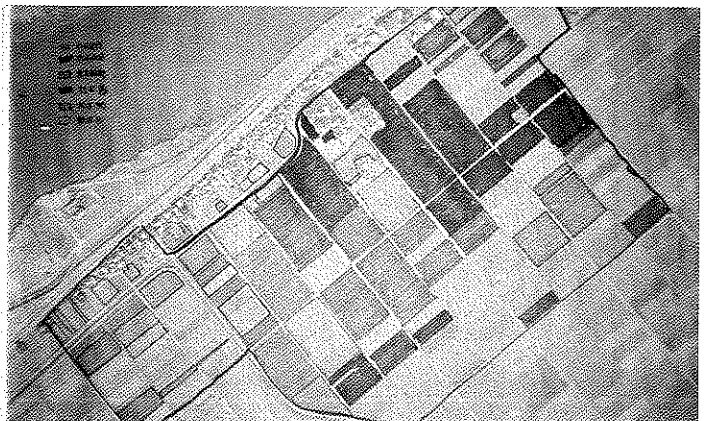
水田農業研修会(千葉市)、先

進事例の視察(茨城県他)や度重なる意見交換を進めたところ「コスト削減には新技術導入も大事だが、まずは農地集積が優先する」との結論に至りました。



### ●各集落での活動へ

担い手はそれぞれの集落で農地集積等に取組むこととなり、次の動きに繋がっています。



A集落で完成した耕地利用図

- (1) A集落では、耕地利用図の作成による、地域内での話し合いによる中間管理事業を活用した農地集積へ。
- (2) B集落では多面的機能支払交付金を活用した環境整備の実施へ。

これらは現在進行中ですが、今後の取組拡大が期待されています。

# ◆ 野 菜 ◆

## 春夏ニンジンのヒョウタンゾウムシ類防除を徹底しましょう

○被害が多発傾向にあります

ヒョウタンゾウムシ類はイネ科の緑肥も含め、多くの作物を加害します。近年は春夏ニンジンでの被害が確認されています。難防除害虫のため、生態を理解した上での対策が重要です。



ニンジンの食害痕と幼虫

### ○発生時期

成虫・幼虫共に越冬しますが、越冬成虫が産んだ卵(5月上旬)から孵化した幼虫が被害を及ぼしている可能性が高いです。

### ○被害を抑えるために

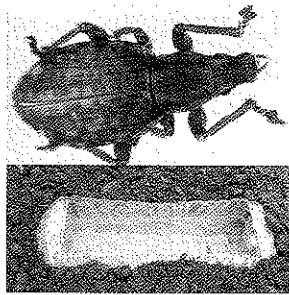
#### 1 作付計画

前年に被害が見られたり、落花生やゴボウ栽培後のほ場は、

春夏ニンジンの作付を避けましょう。

#### 2 薬剤防除

ヒョウタンゾウムシ類は、トンネル除去直後、コテツフロアブル(2千倍、2回まで)等の散布で成虫の密度を低減させましょう。成虫は地面を這って移動するので、発生消長の把握は予察トラップが効果的です。



予察トラップと成虫  
2Lペットボトルの片面を切り取り、土に埋め、中に洗剤を数滴入れた水を張ります。ほ場の周囲等、数力所設置します。

#### 3 作付が終了したら

次作物に土壌くん蒸剤(D-D等)の登録がある場合、作付前に土壌消毒しましょう。

ほ場周辺の雑草地も含め、春から秋に2か月以上作付せず、ロータリー耕と周辺雑草防除で幼虫を飢餓状態にします。

写真提供：千葉県農林総合研究センター

# ◆ 果 樹 ◆

本年は梨の黒星病が多発傾向にあります。来年に持ち越さないためにもしつかり対策をしましょう！

### 1 落葉処理

#### (1) 落葉処理の重要性

黒星病の病原菌は樹上の芽基部や落葉上で越冬し、翌年の一次伝染源となります。特に落葉上の越冬菌は薬剤での防除が難しい、園全体に広がることなどから、重要な伝染源となるため、確実に落葉を処理することが黒星病防除には効果的です。

#### (2) 落葉処理の実際

落葉処理の基本的な方法は、落葉を集めて園外に持ち出すか、粉々に砕いてすきこむかの2通りです。

園の外縁部の落葉も掃いて集めることで、落葉処理がより効果的になります。風を送りだす「ブロワー」を用いると落葉の

収集が楽になります！

### 2 秋季防除

秋季防除は黒星病の分生子が芽基部に感染し、翌年の伝染源になるのを防ぐために行う重要な管理です。

秋季防除の適期は以下の複数の要因で決められています。

- (1) 感染には好適な気温(15℃～21℃)と一定の濡れ時間が
- 必要でこの気温となる時期は10月上旬から11月上旬頃です。
- (2) 腋芽の鱗片生組織がむき出しになると感染しやすく、その割合の高い時期は10月中旬から11月中旬です。
- (3) 分生子は葉から流れ落ちて芽基部に感染するため、落葉80%頃(薬剤の残効を考慮)が最終散布の目安です。

秋季防除時期は10月中旬から11月中旬となつていますが、気象の変動に合わせてこれらの指標も参考に確実な防除を行ってください。

# ◆作物◆

## 次年に向けた水田雑草対策

近年、矢じり型の葉をよく見かけます。これはオモダカ（図1）です。他にもクログワイ等の塊茎（イモ）で増える雑草が年々増加し、問題となつています。これらは「難防除雑草」であり、除草剤のみによる防除は困難なため、秋冬の耕種防除を組み合わせた総合的な対策を長期間行う必要があります。

### 〈オモダカ・クログワイ対策〉

オモダカやクログワイは、刈り後も生育を続け、地中で翌年の発生源となる塊茎を9月上旬～中旬に形成します。そのため、収穫直後なるべく早めに耕うん、またはラウンドアップマツクスロード等の非選択性除草剤を散布して、塊茎の形成を阻害します。また、冬期の耕うんは、低温や乾燥によって塊茎を

枯死させる効果が期待できます。田植え後は、それぞれに効果のある除草剤を体系的に処理し、発生を抑制します。

### 〈ほふく性雑草対策〉

ほふく茎をのばして水田に侵入するイネ科雑草や、近年印旛沼周辺で発生しているナガエツルノゲイトウ（図2）は、茎を切断しても、その茎を発生源にさらに繁殖します。耕うんや代かきでは抑制できないため、草が枯れ上がる前の秋季に、非選択性除草剤を散布し防除します。

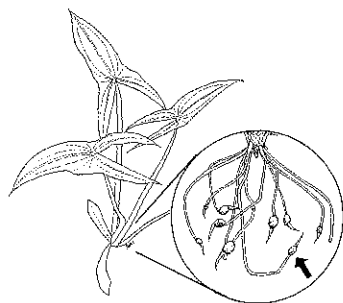


図1 オモダカの葉と塊茎

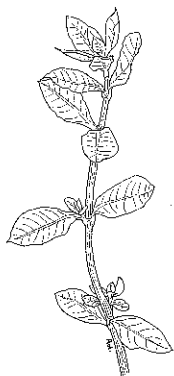


図2 ナガエツルノゲイトウ

# ◆花き◆

## マット植物「タマリユウ」

最近、都市緑化の屋上・壁面緑化で手軽に緑化出来るマット植物が注目されています。マット植物は厚さ数センチの根がマット状になったグラウンドカバー植物です。主なマット植物はヒメイワダレソウ、タイム、シバザクラ、エリゲロン、ロニセラなどです。

そんなマット植物の中で、最近需要が伸びているのがタマリ

ユウです。ユリ科ジャノヒゲ属で日本から中国が原産地と言われている。花は白で目立たず青色の実をつけます。

タマリユウは草丈が5cmぐらいでジャノヒゲの矮性品種です。ジャノヒゲは草丈10～20cmですが昔から畑や庭の間仕切り、傾斜地の土留めに利用されてきました。特にタマリユウは耐寒性、耐蔭性があり、病害等に強く刈り込み剪定がいらなど、栽培しやすいのが特徴です。芝の育ちにくい日陰地に多く植栽されています。

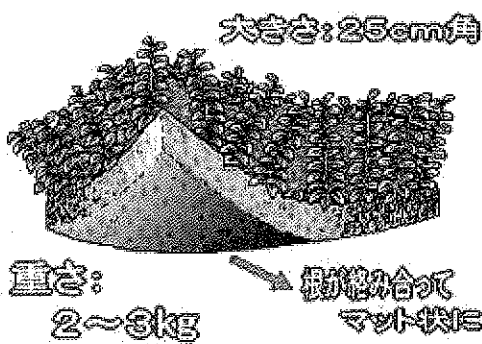


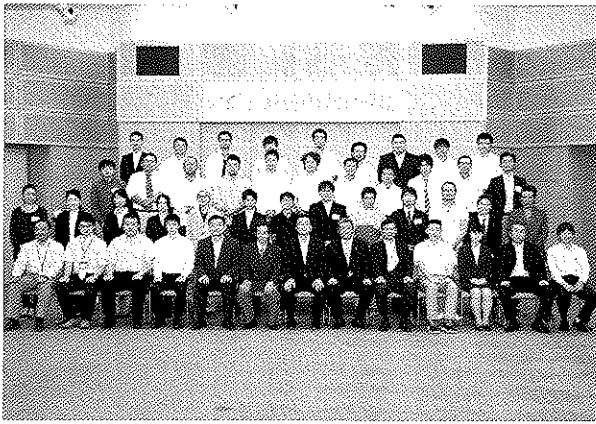
図1 マット植物



図2 タマリユウのマット

# 新規就農者の多くの参加で始まった 農業経営体育成セミナー

本セミナーは新規就農者に対し、3年間で農業経営に必要な知識、技術、課題解決方法、経営計画立案方法等の習得と農業者の仲間作りを目的とした研修です。研修終了時には農業経営計画の立案を目標としています。今年新たに30名と近年になり、総勢65名の受講者に対し、



開講式の様子

象とした研修が始まりました。

5月28日に行われた開講式には、受講生30名の他、来賓として指導農業士、農業士、関係市町村及び農協から12名が出席しました。

印旛郡市指導農業士会恩田氏をはじめ、来賓の方々からの激励の言葉をいただきました。

セミナー生の自己紹介からは農業経営への確かな意気込みが感じられました。セミナーでは、経歴、就農後の年数等、段階に応じた継続的な支援を計画しています。

1年目の基本研修では、農業経営に必要な基礎的知識の習得を目的とした研修を行います。2年目の専門研修では、個別に各自が設定したテーマの課題解決学習（プロジェクト学習）を中心とした実践的な研修を行



指導農業士との意見交換会

います。

修了年度の3年目の総合研修では、自家経営の将来に向けた営農計画を作成し、後輩たち前で発表を行います。

地域で活躍する指導農業士等の経営事例視察や意見交換会、セミナー生同士の相互経営訪問等さまざまな交流ができるのもこのセミナーの特徴です。

改良普及課では、今年も就農した青年の定着と地域農業の担い手を育成するため、各種研修を実施します。

## 平成28年度 千葉県立校 農業大学の 学生募集



農業の発展に寄与する優れた農業の担い手及び指導者の育成を目指す、千葉県立農業大学の農学科及び研究科の学生を募集します。

**試験期日 推薦入試**

平成27年10月27日（火）

**試験期日 一般入試**

A日程 平成28年1月7日（木）

B日程 平成28年2月26日（金）

**試験場所**

千葉県立東金青年の家

**申込・問合せ**

千葉県立農業大学校

〒283-1000

千葉県東金市家之子1059

電話 0475(52)5121

FAX 0475(54)0630

ホームページ

<http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>